

リトルトウキョー殺人課 (1991)

SHOWDOWN IN LITTLE TOKYO

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 アメリカ

時間 79分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

麻薬ルート拡張を図りL.A.に進出して来たジャパニーズ・マフィア。その悪に敢然と挑む、ロス市警アジア特捜隊のバイオレンス刑事コンビを描いたB級アクション。「コマンドー」のM・L・レスターらしく、アクション・シーンはソツなく、それ以外のシーンはズサンになっており、決して良い出来の作品とは口が裂けても言えないが、とにかくD・ラングレン&B・リーの顔合わせがポイント。日本かぶれのラングレンと、アメリカナイズされているリーのコンビネーションはなかなか面白い。全編に漲る“誤った日本観”もお見事で、“なーにがアンダーアレストだ、このヤロー！”などという愉快的台詞も続出する珍品中の珍品である。それにししても、この上映時間の短さは特筆ものである。初めから、90分枠の洋画劇場を意識していると思えない。

【クレジット】

監督	マーク・L・レスター	Mark L. Lester
製作	マーティン・E・カーン	Martin E. Caan
	マーク・L・レスター	Mark L. Lester
脚本	スティーヴン・グランツ	Stephen Glantz
	キャリオペ・ブラットレストリート	Caliope Brattlestreet
音楽	デヴィッド・マイケル・フランク	David Michael Frank
出演	ドルフ・ラングレン	Dolph Lundgren
	ブランドン・リー	Brandon Lee
	ケイリー=ヒロユキ・タガワ	Cary-Hiroyuki Tagawa
	ティア・カレル	Tia Carrere
	トシロー・オバタ	Toshiro Obata
	フィリップ・タン	Philip Tan
	ロドニー・カゲヤマ	